

令和8年度

# オホーツクの森林 国有林へようこそ



林野庁 北海道森林管理局  
網走中部森林管理署

# 管理経営の重点は**公益的機能の維持増進**です

網走中部森林管理署の管理区域は、三国山を源とする常呂川流域及び佐呂間別川流域となっており、面積が北海道最大（全国でも4番目）の都市である北見市（平成18年3月に北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町が合併）、佐呂間町、置戸町にまたがる1市2町に約11万haの国有林（人工林約37,000ha（35%）、天然林約67,000ha（65%））があり、これを管轄しています。

当署が管理している国有林の81%は水資源（飲料水など）の機能を重点的に発揮させるための水源涵養タイプ、16%は山崩れや土砂の流出を抑えるための山地災害防止タイプ、2%は山地の展望台や景勝地を含み、皆さんに利用してもらうための森林空間利用タイプ、1%は多様な生物の保護や保全するための自然維持タイプに区分し、国民の皆さんの生活を支える公益的機能の発揮を重点とした管理経営を行っています。



# 重点的に発揮させる機能に応じた 森林の管理経営に努めています

国有林では国土の保全や水資源の涵養、環境の保全などの公益的機能維持増進を重視した管理経営を推進しています。

このため、公益的機能の維持増進と民有林と連携した森林の整備・保全の取組を一層推進するため「公益的機能別施業森林」として森林を重点的に発揮させる機能によって5機能に区分し、それぞれの区分に応じて機能の維持増進を図ることに努めています。

## 《機能類型別面積》

機能 類型	山地災害防止 タイプ	水源涵養 タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	合計
面積 (比率)	16,832ha (16%)	86,708ha (81%)	1,082ha (1%)	2,712ha (2%)	-	107,334ha

注) 機能類型別国有林野面積は、国有林野の管理経営に関する法律第2条に規定する国有林野を対象に区分されているため、P8の森林面積とは一致しない。

山地災害防止タイプ	水源涵養タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ
 <p>水土保持機能の向上を図るため、適切な密度管理を行い下層植生の発達を促進させるとともに、必要に応じて土砂の流出、崩壊を防止する治山施設を整備しています。</p>	 <p>管内の人工林では、水源涵養などにも考慮し、伐期の長期化や広葉樹の導入による複層林への誘導を図るなど、適切な保育・間伐等を行っています。</p>	 <p>原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息に適した森林を保護林に指定するなど、その保護・保全に努めています。</p>	 <p>鹿の子ダム(おけと湖)の周囲の国有林では、広大な緑の山峡の青い湖と、湖面周辺の眺望の良い森林美が広がり、森林浴やレクリエーションの場を提供しています。</p>

## 【国有林野の公益的利用】

### 《保安林・自然公園等面積》

(単位：ha)

保安林計	水源かん養 林	土砂流出防 備林	その他	自然公園		史跡名勝 天然記念物	鳥獣保護区 特別保護地区	レクリエー ションの森
				網走国定公園				
105,111	84,161	15,759	5,191	1,018		73	435	2,474

# 公益的機能の維持増進を 図るための取組を推進しています

## 保安林の整備

土砂の流出、崩壊の防備や水源のかん養が特に求められる森林は「**保安林**」に指定し、良好な森林に整備しています。

管内の国有林は全体の約 98%が保安林に指定されています。保安林では、それぞれの指定目的や森林の機能がより高度に発揮されるよう森林の整備を行うとともに、崩壊地を復旧して森林を回復させ、山地災害を防止するための施設等を整備する「**治山事業**」を実施しています。



○床固工（北見市留辺蘂）



○保健保安林（置戸町 鹿の子沢）

## 保護林の指定

国有林では、貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを「**保護林**」に指定し、その保護・保全に努めています。

管内の国有林には「端野シラカンバ等遺伝資源希少個体群保護林」他遺伝資源希少個体群保護林 10 種及び「置戸アカエゾマツ希少個体群保護林」の保護林合計 193ha があり、保護・保全が図られています。



○端野シラカンバ等遺伝資源希少個体群保護林  
2288 林班 [北見市端野]



○置戸アカエゾマツ希少個体群保護林 39 林班  
[置戸町]

# 開かれた国有林で 国民参加の森林づくりを進めています

国有林野の多様で豊かな自然環境、森林・林業に関する知識と経験を備えた人材等を活用し、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、昨今の国民の要請に応えるため、フィールドの提供や必要な技術指導を行うなど国民による国有林野の積極的な利用を推進しています。

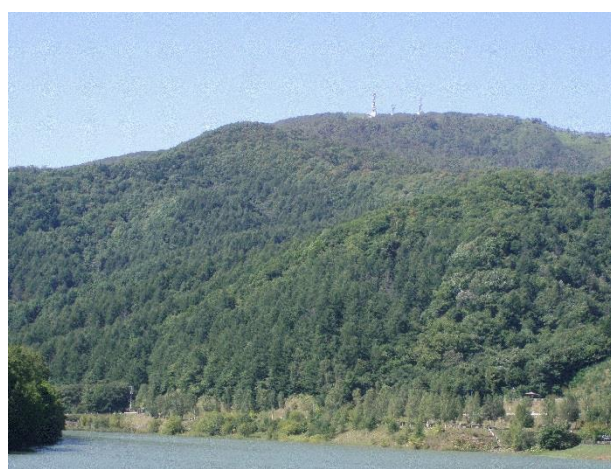
また、自ら森林づくりを体験したい、森林づくりを通じて社会貢献をしたい、森林の役割を学ぶ森林教室を行いたいなどのニーズに応えるため、このような活動を行おうとする民間団体等が継続的に国有林を活用できる「協定締結による国民参加の森林づくり」を推進しています。

活動内容により、「ふれあいの森、社会貢献の森、木の文化を支える森、遊々の森、多様な活動の森、モデルプロジェクトの森」の種類があり、網走中部森林管理署では、下記の協定締結による国民参加の森林づくりを行っています。

区分	場所	面積	内容
ふれあいの森	北見市端野町緋牛内 2286、2288 林班	1.94ha	協定者：森林ボランティア「オホーツクの会」 自主的な森林整備活動を目的とした森林整備や森林観察等の活動を通じた親睦・交流を図る場として活用。
多様な活動の森	北見市富里 2249、2250、2252 林班	88.90ha	協定者：仁頃山愛好会 森林の保全を目的とした仁頃山登山道及び山頂周辺における登山安全パトロール等の活動の円滑な実施。



○「ふれあいの森」にある展望台



○「多様な活動の森」北見市仁頃山

## 国民参加の森林づくり

地元市町との共催による植樹祭等を行うとともに、地元の小学校及び認定こども園等を対象とした森林体験・森林教室などを行い、森林とふれあう機会を提供し、森林づくりへの参加と森林・林業への理解を深めるための活動・支援を行っています。

写真は令和7年5月に実施した佐呂間町植樹祭の様子です。

# 佐呂間町植樹祭に参加しました

日時 令和7年5月30日

場所 佐呂間町字若里



令和7年5月30日、「森と湖のまち」佐呂間町の令和7年度（第54回）植樹祭が、若里地区の牧場跡地で開催され、約100名の町民の皆さんが、ミズナラ1,000本、エゾヤマザクラ100本を植えました。

網走中部森林管理署は、事前授業（10ページ参照）を行った佐呂間小学校4年生のサポートを担当しました。

児童の皆さんは、手際よく作業を進めており、「これはミズナラだからドングリの木だ」等の声も聞こえ、植樹祭で木々への関心が育まれているようです。

# 森林と人との ふれあいの場を提供しています

## レクリエーションの森

人と森林とのふれあいの場を提供するため、自然の美しさを楽しむことができる自然休養林や風景林などのレクリエーションの森を設定し、森林とのふれあい環境を整備しています。

管内には「サロマ湖畔自然休養林」や「鹿の子沢風景林」「おけと湖風致探勝林」の3カ所、2,474haのレクリエーションの森があり、皆さんに親しまれています。



○ サロマ湖畔自然休養林〔佐呂間町〕



○ おけと湖風致探勝林〔置戸町〕

## 日本美しの森 お薦め国有林

置戸町の「鹿の子沢風景林」は、優れた自然景観を有し、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森として「日本美しの森 お薦め国有林」に選定されています。

**日本美しの森 お薦め国有林**

人は、生き物は、森に育まれ、森に守られて暮らしてきました。現象にも通なる樹々の緑とふれあい、自然の息吹を感じるとき、きっと私たちの心には、新たな生命力が芽吹いてくるはずです。日本の国土の70%は、美しく豊かな森林に覆われています。林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、全国美しい国有林にレクリエーションの森を展開しています。この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を「日本美しの森 お薦め国有林」として選定しています。

**利用する皆様への国有林からのお願い**

- ① 動植物の保護にご協力ください。ペットの連れ込みはマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- ② 樹木を折損したり、林産物を盗取した場合は、法により罰せられることがあります。森林内では、下草の採取等も禁止されています。
- ③ 赤湯、広瀬等の区域への立ち入りはお控えください。指定区域でのキャンプは禁止です。それぞれのグループの旗のルールに従ってください。
- ④ 立ち禁煙の表示がある区域には、絶対に立ち入りしないでください。
- ⑤ 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある樹がないか、落木の危険がないかなど、安全な場所であることを十分に確認してください。
- ⑥ 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝え、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出します。併せて、登山口等に設置してある「登山入山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。
- ⑦ 悪天候のときは入林をお控えください。
- ⑧ 余った食糧を林内に棄てることはしないでください。ゴミ・残飯の持ち帰りにご協力ください。
- ⑨ 薪割は決められた場所でお願います。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- ⑩ 山道は危険です。歩きながら携帯電話等の使用は危険ですのでお控えください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- ⑪ 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理課又は森林管理室にご連絡の上、所定の手続きを行ってください。



### アクセス方法

**公共交通機関の場合:**

- 定例バス(鹿山温泉停留所から徒歩約80分程度(4.5km))
- 北見駅(北見バス) 新子沢(置戸) 鹿山(鹿野線)の9のり → 鹿山温泉停留所下車
- 公共交通機関の乗り継ぎが不便なため、車のアクセスをお勧めします。

**車の場合:**

- 女満別空港(乗換バス)から北見市を経る(国道39号、国道50号等)約90分 → 置戸町市街(国道211号等、約30分) → 鹿の子沢風景林駐車場

### 鹿の子沢風景林

住所: 北海道室蘭市置戸町字栗元

お問い合わせ先:  
林野庁北海道森林管理課 網走中部森林管理署  
電話番号: 0157-52-3011

おけと湖・鹿の子沢レクリエーションの森管理運営協議会  
(置戸町産業振興課)  
電話番号: 0157-52-3313

林野庁 国有林野部 経営企画課  
林野庁レクリエーションの森 ホームページ  
<http://www.thp.maff.go.jp/j/kokori/shya/kekusan/gori/kabgo/kekunai/kekunon.com>

Recreation Forests of JAPAN

北海道 置戸町

## 鹿の子沢 風景林

奇岩と滝と森林がつくる絶景

レクリエーションの森  
林野庁

# 木材の安定供給に努めています

## 育成複層林施業

公益的機能の維持増進を図りつつ資源の循環利用を推進するため、部分的に伐採を繰り返しながら、最終的には2段以上の樹冠構成を持った森林へ誘導していくことを目指しています。



○部分的に伐採を実施したトドマツ人工林

## 森林整備と木材の安定供給

再生可能な資源である木材を循環的に利用するため、自然条件等を勘案しながら伐採と植林を繰り返して、木材を安定的に供給するよう努めています。

また、伐採した木材の一部は、公募に応じた製材工場等と協定を締結し、計画的に木材を販売することで国産材の利用拡大を図る「安定供給システム販売」を実施しています。



○列状間伐を実施したトドマツ人工林



○木材搬出に利用される林道



○フォワーダによる木材の搬出



○有効利用される間伐材

# 流域を単位に**民有林行政と連携した** **森林整備等に努めています**

## 流域管理の推進

地域における適切な森林整備や林業・林産業の活性化を図るためには、流域を単位として民有林と国有林が協調しながら計画を立て、事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当するオホーツク総合振興局や市町と連携して、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などに努めています。

森林の現況（網走東部森林計画区のうち網走中部森林管理署管内）

単位：ha・%

市町村	総面積	国有林 (林野庁所管)	道有林	民有林	森林面積計	森林率	森林面積の 国有林率
北見市	142,741	59,303	1,899	33,067	94,281	66	63
置戸町	52,727	31,583	5,115	8,034	44,732	85	71
佐呂間町	40,494	15,063	-	7,680	22,743	56	66
訓子府町	19,095	-	6,035	3,167	9,202	48	-
計	255,057	105,949	13,049	51,948	170,958	67	62

注1) 区域面積は「令和8年北海道統計書」、森林面積は「令和6年度北海道林業統計」による。

注2) 民有林には市町有林を含む。

## 流域森林・林業活性化協議会の取組

民有林行政、国有林行政が連携して流域の森林の整備等を進めるために、関係者で「網走東部流域森林・林業活性化協議会」を設けています。

この協議会には網走中部・網走南部森林管理署のほか、オホーツク総合振興局・網走東部流域内の各市町をはじめ多くの関係者が参画し、地域の木材利用の推進等に努めています。

## 市町村森林整備計画支援への取組

市町村森林整備計画の実行管理や森林所有者等が作成する森林経営計画の策定支援のため市町村森林整備計画実行管理推進チーム等に国有林職員（フォレストラー）が参画し、国有林野事業で携わってきた経験を活かした取組などを通じて技術的支援等を行い、市町村への協力の推進に努めています。

## 森林認証（SGEC）の取組

平成25年12月、地域の要請等を踏まえ「緑の循環認証会議（SGEC）森林認証」を当署管内及び網走南部森林管理署の網走東部流域国有林全域で取得しました。これにより網走西部流域国有林と合わせ、オホーツク総合振興局管内の国有林全てが認証林となりました。オホーツク地域では森林全体の約8割が森林認証を取得しており、民有林・国有林が一体となった森林認証による取組を進めています。

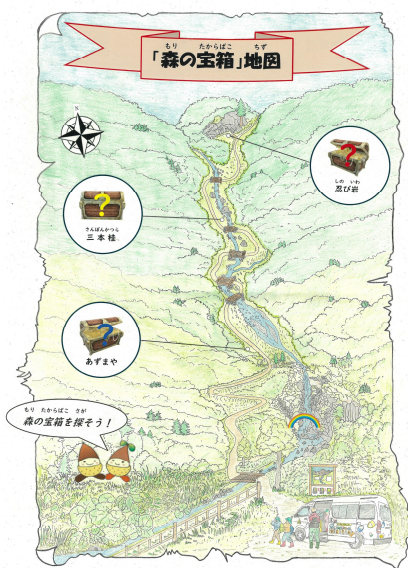
# 地域を支援する取組みを行っています

## 最近の取組状況

### 【認定こども園で森林教室を実施】

「認定こども園 置戸町こどもセンターどんぐり」の園児と置戸町の名所「鹿の子沢風景林」で森林散策をするのが秋の恒例行事になっていたのですが、令和7年は、クマの活動が活発となっていることから、安全を考慮して室内での森林教室に変更しました。

令和7年9月26日、ぞう組（5歳児）15名の園児の皆さんに、「鹿の子沢風景林」を題材に、樹木の特性、森林の動物、森林と水の関係等を理解してもらうため、絵地図、現地の写真、現地で採取した木の葉、動物のフン等を用意して、クイズ形式で森林の機能を説明しながら絵地図を使ってゴールを目指しました。



【絵地図と写真で説明中】

後半は、様々な木々の葉っぱを使って、「葉っぱの写し絵」に挑戦しました。



【お気に入りの葉っぱを選びます】

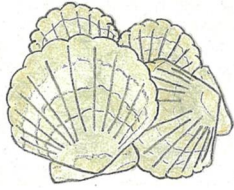


【葉っぱに紙をのせ、クレヨンで擦ります】

急遽室内用として準備した森林教室でしたが、園児の皆さんには、地元置戸町の鹿の子沢や森の働きに理解を深めてもらえたと思います。

### 【植樹祭事前授業を実施】

令和7年5月28日、佐呂間町植樹祭に参加する佐呂間小学校4年生15名を対象に、佐呂間町役場経済課、NPO佐呂間町観光協会、網走中部森林管理署が協力して、植樹祭に向けての事前授業を行いました。



佐呂間町役場と観光協会から、「サロマ湖では、どうして美味しくて大きなホタテができるのか？」

佐呂間町の特産物ホタテ貝を題材に、サロマ湖と森林の関わり、佐呂間町の森林面積、木を植える重要性等を説明。



網走中部森林管理署は、植樹祭で植えるミズナラ、エゾヤマザクラの葉っぱの形や実の特徴等と苗木の植え方を説明。

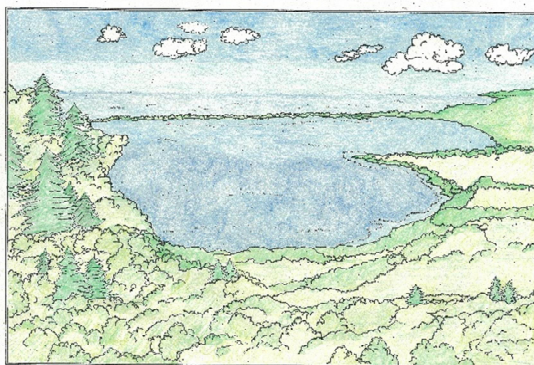
事前に木の名前や特徴、森林の持つ様々な機能を学習して、植樹祭に参加してもらい、美味しくて大きなホタテを育む森林づくりに協力してもらうことになりました。



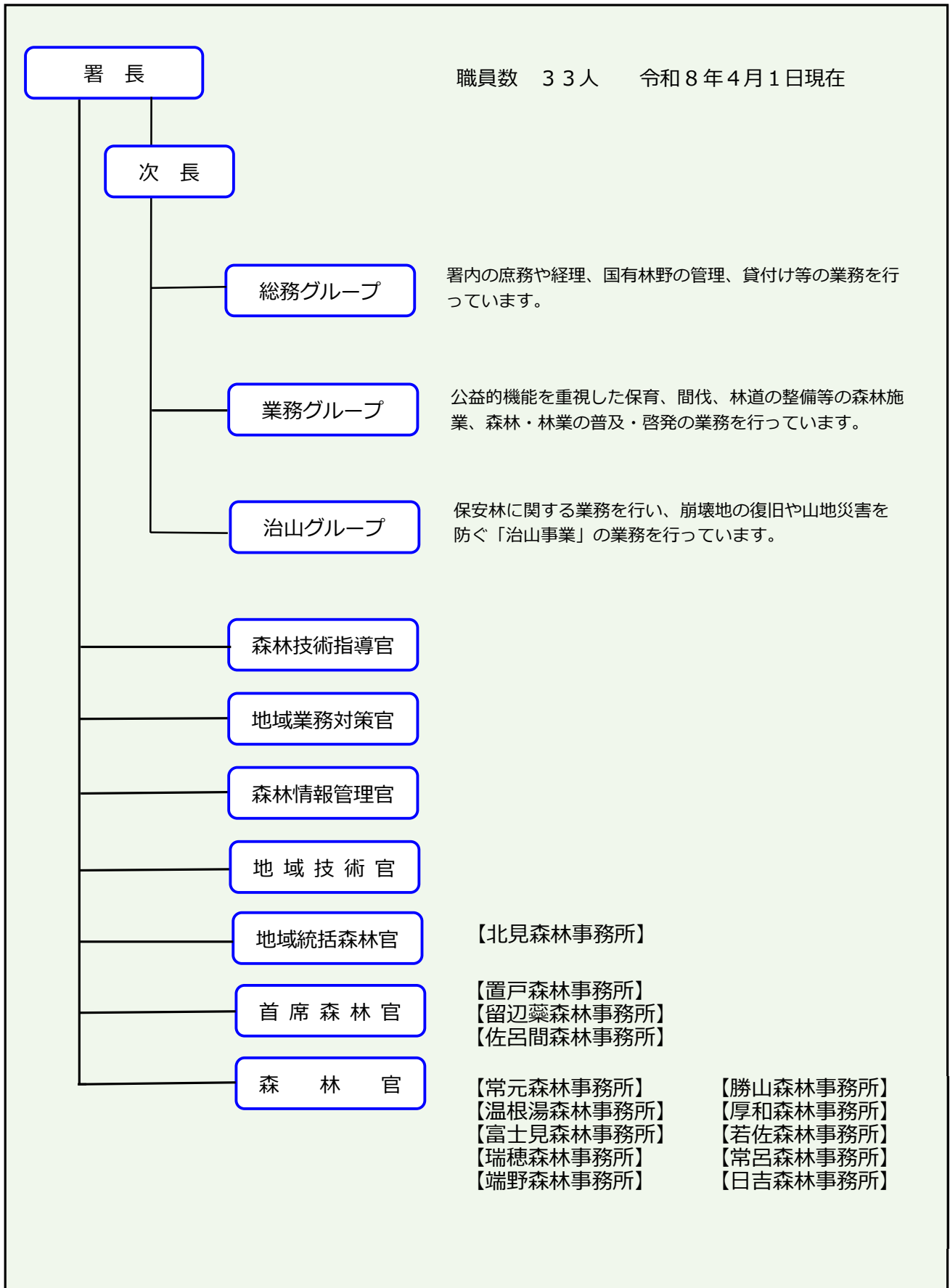
佐呂間町には、どれくらい森林があると思う？  
「は〜い」と手が上がります。



どんぐりがなる木を知っていますか？  
図を使ってミズナラを解説中。



# 組織図



## 網走中部森林管理署 森林事務所所在地

森林事務所名	所在地等	
置戸 常元 勝山	〒099-1100 常呂郡置戸町字置戸 398-1 TEL 0157-52-3459	
留辺蘂 瑞穂	〒091-0033 北見市留辺蘂町栄町 82-4 TEL 0157-42-2116	
温根湯 厚和 富士見	〒091-0033 北見市留辺蘂町栄町 82-4 TEL 0157-45-2707	
若佐 佐呂間	〒093-0502 常呂郡佐呂間町永代町 98-2 TEL 01587-2-3439	
常呂 日吉 北見 端野	〒090-0035 北見市北斗町 3 丁目 11-3 TEL 0157-23-7435	

## 令和8年度 主要事業量

区 分		単 位	令和8年度	備考
販売量	立木販売	m3	125,200	
	製品販売	m3	75,000	
造 林	更 新	ha	73.36	
	保 育	ha	1,563.37	
林 道	新 設	m	1,200	
治山事業		百万円	138	

注1：造林の更新は、新植、改植の植付、天I地拵の合計である。

注2：造林の保育は、下刈、つる切除伐、除伐2類、保育間伐（高齢級含む）の合計である。

注3：造林の更新、保育面積には、治山費による実行分を含む。

### 網走中部森林管理署の沿革

年 月	北見市、常呂郡の 国有林管轄官庁	記 事
明治41年	内務省北海道庁	網走営林区署設置（網走町）
大正8年	内務省北海道庁	網走営林区署野付牛分署設置（野付牛町）
昭和3年	内務省北海道庁	野付牛分署が野付牛営林区署に昇格
昭和17年5月	内務省北海道庁	留辺蘂営林区署設置（野付牛営林区署から分離）
昭和17年	内務省北海道庁	野付牛営林区署を北見営林区署と改称
昭和22年5月	農林省林野局	北見営林区署を北見営林署に改称
昭和22年5月	農林省林野局	留辺蘂営林区署を留辺蘂営林署に改称
昭和22年10月	農林省林野局	置戸営林署設置（北見営林署から分離）
昭和22年10月	農林省林野局	佐呂間営林署設置（留辺蘂営林署から分離）
昭和24年6月	農林省林野庁	林野局が林野庁に改組
平成4年3月	農林水産省林野庁	佐呂間営林署と北見営林署を統合、佐呂間営林署と北見森林経営センターに改組
平成11年3月	農林水産省林野庁	置戸営林署を網走中部森林管理署と改称
平成11年3月	農林水産省林野庁	留辺蘂営林署を網走中部森林管理署留辺蘂事務所と改称
平成11年3月	農林水産省林野庁	佐呂間営林署を網走中部森林管理署佐呂間事務所と改称
平成13年8月	農林水産省林野庁	網走中部森林管理署留辺蘂事務所を廃止、網走中部森林管理署に統合
平成16年3月	農林水産省林野庁	網走中部森林管理署佐呂間事務所・北見森林経営センターを廃止、網走中部森林管理署に統合

※昭和17年6月10日、野付牛町が市制施行して北見市と改称

明治 41 年

網走営林区署

大正 8 年

網走営林区署野付牛分署

昭和 3 年

野付牛営林区署

昭和 17 年 5 月

野付牛営林区署

留辺蘂営林区署

改称

昭和 17 年

北見営林区署

改称

昭和 22 年 5 月

北見営林署

改称

留辺蘂営林署

昭和 22 年 10 月

北見営林署

分離

置戸営林署

分離

留辺蘂営林署

佐呂間営林署

平成 4 年 3 月

北見営林署

改称

北見森林  
経営センター

統合

留辺蘂営林署

佐呂間営林署

平成 11 年 3 月

改称

網走中部森林管理署

改称

網走中部森林管理署  
留辺蘂事務所

改称

網走中部森林管理署  
佐呂間事務所

平成 13 年 8 月

網走中部森林管理署

統合

廃止

平成 16 年 3 月

廃止

網走中部森林管理署

統合

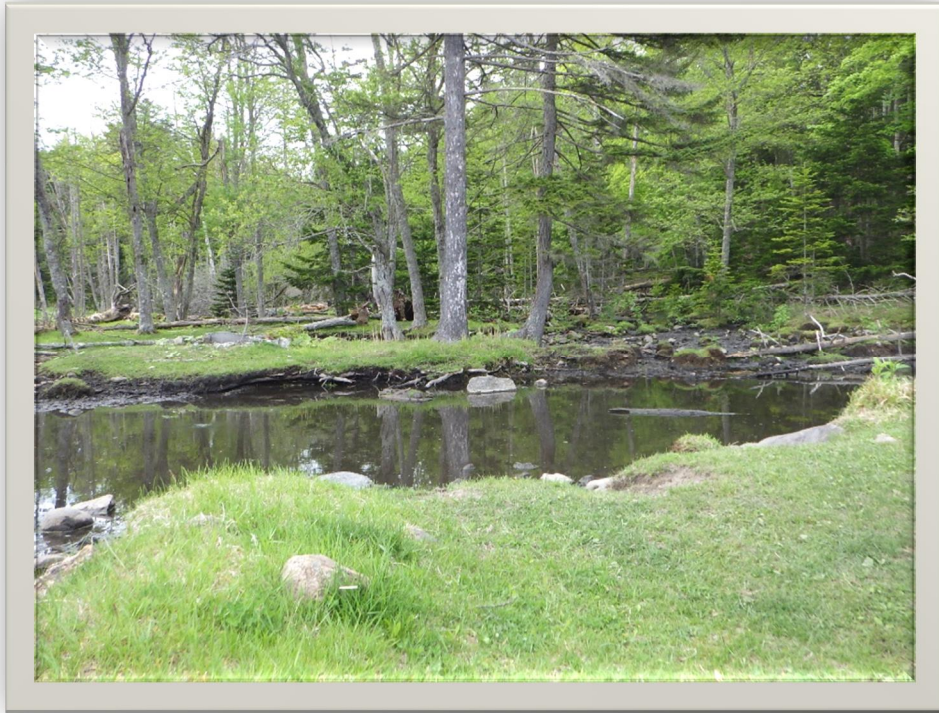
統合

廃止



置戸営林署置戸貯木場と輸送事業所の看板  
この看板は置戸町郷土資料館で展示されています。

## 表紙写真



【森の中の泉】

表紙の写真【森の中の泉】は、置戸町の山中で撮影したものです。深山の森林から湧き出でたる泉なので、さぞかし冷たい水かと思いましたが、手を入れたのですが、何と温いのです。



【写真①】

【写真①】は、表紙写真とほぼ同じ場所を、昭和20年代に撮影した写真です。  
木造の建物が写っています。  
屋根は桎蓐きのようです。  
右側の平屋部分は浴室でしょうか？  
屋根に湯気抜きのために、設置されたと思われる小屋根を確認できます。  
小屋根の後方には煙突が写っています。  
建物の山側には、薪が高く積まれています。  
薪を燃料にして、風呂の湯を沸かしたのでしょうか。  
よく見ると、入口に「置戸営林署 保養所 鹿の湯温泉」と書かれた看板が掛かっています。

これは「置戸町史」等で、  
「国有林47林班には自然湧出の温泉があり、官行斫伐事業所建設のさい、この湯をひいて湧かし 鹿の湯温泉 として利用されてきたが、事業所が閉鎖されたいまも湯はそのまま放置されている。」  
「国有林の事業が盛んだったころ、国有林40林班と47林班の境界近く、上ホロカトコロ川左岸に湧出する冷泉を沸かした官行斫伐事業所があった。紅葉の季節には森林軌道車に乗って営林署の職員やその家族、時には町民が入浴やキノコ狩りを楽しんだ。事業所が閉鎖され建物も撤去された今は、川縁にわずかに残った浴槽の破片と、錆びてボロボロになった鉄パイプから冷泉が湧き出しているだけだが、微かな硫黄のかおりは途切れない。」  
と紹介されている鹿の湯温泉です。



【写真②】

【写真②】は、厳寒期の1月に撮影したものです。  
温いとはいえ、温泉（冷泉）なので凍結しません。

現在、建物は撤去され自然に還り、兵どもが夢の跡、静まり返っていますが、「鹿の湯」の名のとおり、周辺には鹿が多く生息しており、鹿の専用浴場になっているようです。

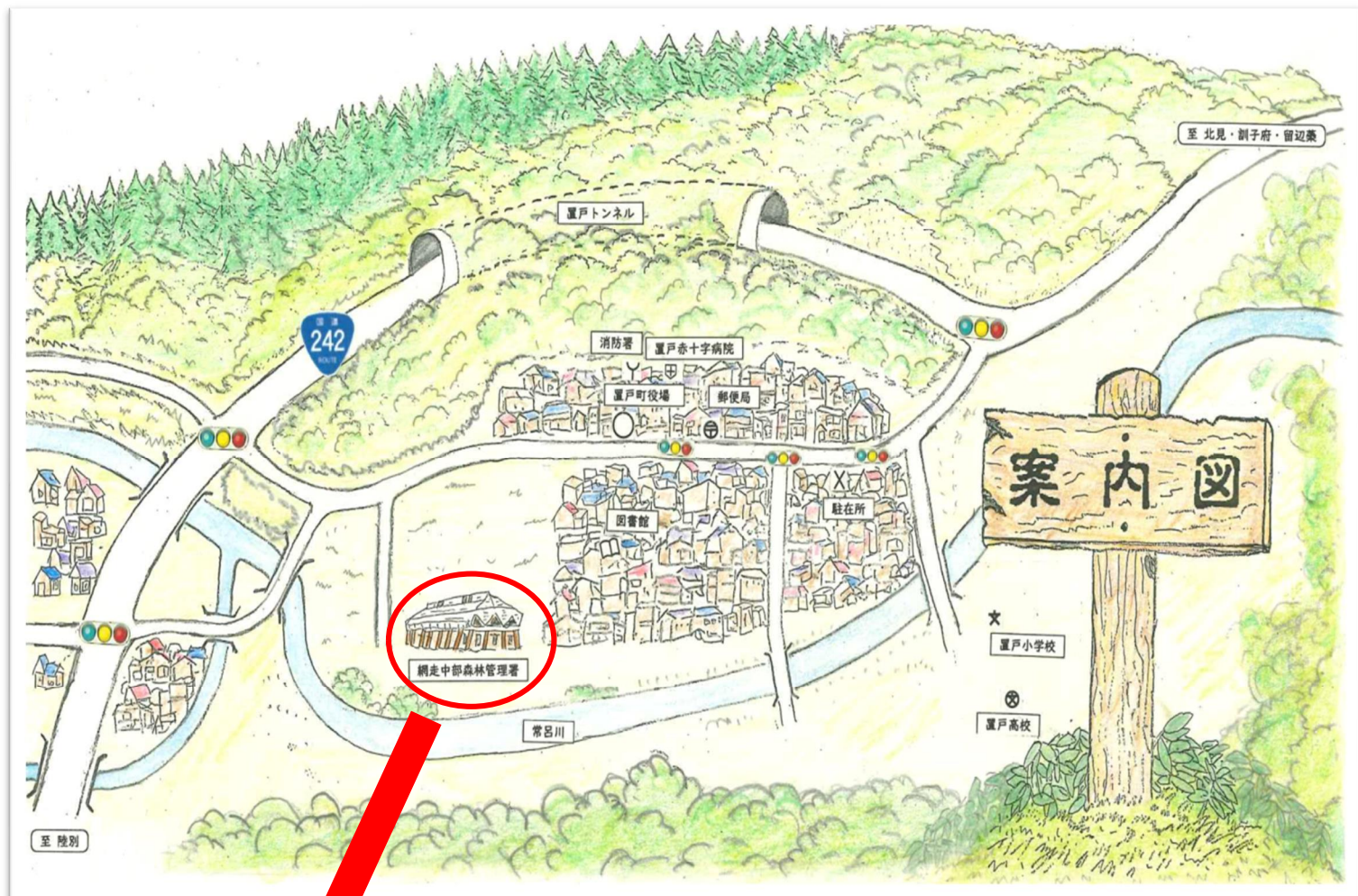
#### 【参考文献】

- ・置戸町史下巻（戦後編） 昭和62年12月20日発行
- ・置戸町開町百周年記念 語りつなぐ歴史と証言  
第四巻 生活環境と風俗・観光の変遷 平成28年3月発行

#### 【協力】

置戸町教育委員会 社会教育課 置戸町郷土資料館

# 網走中部森林管理署案内図



## 網走中部森林管理署

〒099-1100

北海道常呂郡置戸町字置戸 398-99

TEL:0157-52-3011

(IP電話 050-3160-5770)